



# かたくり



令和4年度  
第41号

2022.12.22

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

## 「4年認知症サポーター養成講座」

14日に、4年生は、仙北市包括支援センターや社会福祉協議会から5名の講師の方々をお招きして、認知症サポーター養成講座を行いました。

この講座は、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族の方が必要としている支援を、自分にできる範囲で行う人たちを増やすことで、みんなで支え合いながら暮らせるやさしいまちづくりを目指して、仙北市が取り組んでいるものです。もともとは大人向けの講座ですが、小学生にもわかりやすくお話していただきました。

今回の講座では、「認知症とは」「認知症の人の気持ち」「認知症のお年寄りへの接し方」などを学ぶことができました。そして、寸劇やお話を通して、「分からなくなることはとても不安なこと」「優しい言葉づかいが認知症の方々への『薬』となること」などを教わった子どもたち。「これからは、みんなに優しく接していきたい」「みんなで支え合って生活していきたい」と気持ちを新たにしていました。

「みんなに優しく」「みんなで支え合って」ということは、認知症に限らず社会生活すべてにおいて大切なことです。今回の講座で感じた思いを、今後の生活の中で生かしてほしいです。



## 「1・2年おもちゃフェスティバル」

20日に、2年生が1年生を招待しておもちゃフェスティバルを開催しました。「かたくり32号」で紹介した2年生の生活科の学習の一環として行われたものです。

初めは、「パッチンジャンプ」「ぴょんコップ」「ころころころん」「とことこ車」「ヨットカー」「かざわ」の6つのコーナーの遊び方について、2年生のみなさんが実際にやって見せたりしながら1年生にわかりやすく教えてくれました。その後、いよいよ体験です。各コーナーからは、1年生のみなさんの歓声や笑い声が聞こえ、そして、うまくいかない子に優しく声をかけてあげる2年生の姿が見られました。

招待する側とされる側、それぞれの立場で過ごした1時間は、責任感と思いやり、感謝の気持ちを育む時間となっていました。



## 「5年JA料理教室」

21日に、JAアグリスクールの一環として、5年生が、みそたんぽづくりに挑戦しました。5月の田植え、9月の稲刈りの時と同様にJA営農センターやJA婦人部の方々が、今回も講師としてご指導してくださいました。

3年生のときにおやきづくりは体験していますが、たんぽづくりは、少し勝手が違います。炊き上がったばかりのご飯を、すりこぎで半練り状態にするところからスタートしましたが、ご飯の熱さとすりこぎにくっつくご飯粒に四苦八苦。すりこぎに水をつけながらやるとうまくいくことを教えてもらってからは、だいぶスムーズに作業が進んでいました。

割り箸に、半練り状態のご飯をつけ、たんぽを形作る作業では、ちくわ型、小判型、滴型、??型などができあがり、その子なりのこだわりがあるようでした。

最後に、味噌だれを塗って、ホットプレートで焼いてできあがりです。グループごとに講師の先生とお話をしながら、和やかな雰囲気の中で活動が進んでいきました。

自分で作ったみそたんぽをおいしそうにほおぼる姿がとても印象的でした。JAのみなさん、子どもたちに貴重な体験活動をさせていただき、本当にありがとうございました。



## 「6年スペシャル給食」

今日、6年生でスペシャル給食が実施されました。これは、市内の6年生を対象に仙北市総合給食センターが行っているもので、マナーを守りながら、小学校生活の思い出に残る楽しい会食にすることがねらいです。

牛乳の代わりにお茶かカフェオレかアップルジュースから好きな物を選びます。主菜、副菜には今日のメニューに加え、骨付きフライドチキンとたこ焼きが付きます。また、デザートとしてムースケーキ（レアチーズ、ショコラ、練乳いちごからセレクト）も付きました。

会食では、大きな声でなければ、近くの友達と会話をするのもOKですが、やはりこれまでの黙食に慣れているせいか、「何を話せばいいかわからない。」といった声も聞こえてきました。なかなかコロナ前と同じにはいかないようです。ですが、食は、どんどん進み、おかわり争奪じゃんけんの輪もできていました。そして、最後には、何一つ残すことなく、全て完食です。さすが6年生です。

今回のような機会を提供してくださった給食センターのみなさん、本当にありがとうございました。

